

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標 (アンケート回答率 ・生徒学校 94%、生活 97%、保護者 87%)	成果評価	
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4: 全教員が行った。	4	4: 生徒学校評価(1, 3, 4, 6~8)、生徒生活アンケート(11, 13~19)、保護者学校評価(1, 3, 4, 6, 8)の平均が90%以上	4	
			3: 80%以上の教員が行った。				
			2: 60%以上の教員が行った。				
			1: 60%未満であった。				
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4: 学期に2~3回(年間6回)以上行った。	4			3: 生徒学校評価(1, 3, 4, 6~8)、生徒生活アンケート(11, 13~19)、保護者学校評価(1, 3, 4, 6, 8)の平均が80%以上
			3: 学期に1回(年間3回)以上行った。				
			2: 年度間に1回以上行った。				
			1: 実施しなかった。				
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4: 「組織的対応ができた」と全教員が回答した。	4	2: 生徒学校評価(1, 3, 4, 6~8)、生徒生活アンケート(11, 13~19)、保護者学校評価(1, 3, 4, 6, 8)の平均が60%以上		
			3: 80%以上の教員が回答した。				
			2: 60%以上の教員が回答した。				
			1: 60%未満であった。				
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4: 「組織的対応ができた」と全教員が回答した。	4			1: 生徒学校評価(1, 3, 4, 6~8)、生徒生活アンケート(11, 13~19)、保護者学校評価(1, 3, 4, 6, 8)の平均が60%未満
			3: 80%以上の教員が回答した。				
			2: 60%以上の教員が回答した。				
			1: 60%未満であった。				
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4: 必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。	4			
			3: 必要な事案に対しておおた会議を実施した。				
			2: 必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。				
			1: 必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的に対応しなかった。				
		人と人、人と自然のつながりを体験させるために、ボランティア活動に対する生徒の意欲を高めさせ、積極的に参加させる。	4: ボランティア活動を月1回以上実施した。	4			
			3: ボランティア活動を学期に1回以上実施した。				
			2: ボランティア活動を年1回以上実施した。				
			1: 実施しなかった。				

これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
	評価	コメント
<p>ESDに関わる様々な行事やボランティア活動の体験プログラムを通して、他者と関わる機会を多く作り、事後のレポートや作文等の振り返りを実施した。また、昨年度から導入しているシビック・アクションが奏功している。</p> <p>関連する学校自己評価の成果指標(昨年度90.3%)は92.9%と目標値を達成している。調査項目の中で保護者学校評価「学校の生活指導の方針に共感できる」が83.1%(昨年度85.8%)と最も低く課題である。精査したい。</p>	A	<p>・94.4%の保護者が六中に入塾してよかったと感じていらっしゃることは素晴らしいです。ESD関連の行事やボランティア活動等で他者と関わる機会が多く作られている事が、生徒の正義感や自己肯定感、有用感を高め、自他の生命を尊重する心が育つのだと感じました。</p> <p>・学校生活アンケートのプラン3に関わる肯定評価が、昨年度と比較して大幅な上昇がみられ、自己肯定感が向上していることが分かりました。ボランティア活動やシビック・アクションの取組の効果だと思えます。</p> <p>・生徒が関われるボランティア活動を考えることが、地域の方にも求められていると思えます。</p> <p>・取組評価が全項目で4に対し、成果評価も4となっていて良いと思えます。</p> <p>・この項目に関する取組評価、成果評価が共にオール4なのは、長年にわたるESDからSDGsの教育成果によるものと思えます。素晴らしい。</p> <p>・生徒学校評価から自己肯定感が高く、素晴らしいと思えました。</p> <p>・道徳の講師の方をお招きした授業が行われていたり、学校生活調査の結果が適切に分析されていたり、六中の生徒たちの様子について先生方が丁寧に見て下さっていることは評価できることだと思います。</p> <p>・個々の力が発揮し、全体を盛り上げりに貢献と思えます。</p> <p>・道徳教育では講師の方による研修がとても良かった。今後も講師の指導による研修を続けて道徳の授業を充実させていただきたく思います。ボランティア活動は長年にわたり取り組んであり、地域貢献に繋がっている。自然を大切に想い、地域とのコミュニケーションを深めていただきたい。六中生の皆さん、地域の為の活動に感謝します。</p> <p>・先生方の平日頃の生徒への規範意識に対するご指導に感謝したい。これだけ多種多様な家庭が増えているので、生徒発信のきまりがうまく伝わるのは難しいのではないかと。制服も毎年微妙に変わっている部分は、在校生保護者には伝わりにくいのではないかと感じた。現にネクタイを締めたくない生徒の親の話を、夏制服の服で行っている我が子に対して戸惑いの声も耳にした。制服を通してTPOの学習にもつながると思うが、どこまでOKでどれだと×かがわかるようにしてはどうか？と感じた。</p> <p>・この結果を維持していければ未来への希望は明るい。</p>
	13	
	B	
	1	
<p>A: 自己評価は適切である</p> <p>B: 自己評価はおおむね適切である</p> <p>C: 自己評価は適切ではない</p> <p>D: 評価は不可能である</p>	C	0
	D	0